

会長就任にあたり

公益財団法人九州生産性本部 会長 酒見俊夫



去る5月20日に開催されました第16回定時理事会において、当本部の会長に選任されました。この厳しい経済環境の中で会長の大役を仰せつかることは大変責任の重い仕事ではございますが、九州地域経済の発展のため、精一杯努めたいと思っております。

さて、日本の時間当たり労働生産性は、アメリカの概ね三分の二にとどまり、OECD加盟35カ国中20位、先進7カ国では一番低い状況にあります。また、GDPの7割、雇用者の7割を占めるサービス産業の生産性はアメリカの半分程度とも言われております。

現在、日本の総人口は一貫して減少傾向にあるなか、新元号「令和」のもと国民一体となって、希望にあふれる新たな時代を切り開き、持続可能な経済成長を実

現していくためには、付加価値の増大を軸とした生産性革新に取り組み、成長と分配の好循環を創り出すことが喫緊の課題となっております。

当九州生産性本部においては、「雇用の維持・拡大」「労使の協力・協議」「成果の公正配分」を謳う生産性運動の三原則とともに、「生産性は進歩の精神であり、絶えざる改良の精神である」という生産性運動の原点を踏まえ、経営イノベーションと人材開発を通じて九州地域の生産性向上に貢献してまいりたいと考えています。

会員企業・労組の皆様には、よろしくご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。